

さつきやま魂

さつきやま魂の誇りを胸に、ふるさとに貢献する青年の育成

崎山中学校だより
11月29日 第14号
文責 校長 山下



二十四節季で小雪が過ぎ、朝夕は厳しい寒さを感じる季節となりました。本校では、三者面談も終了し、3年生は進路実現に向けて、1・2年生は、進級に向けての準備を本格的に進めていく時期となっています。コロナ禍の影響で、行事等を立て続けに実施したため、忙しい2学期となりましたが、子供たちは、どの行事にも主体的に取り組むなど、順調に成長している姿が見られ嬉しく思います。

さて、今年度より、新しい学習指導要領が全面実施となりました。この新しい学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」が重視されています。本校の今年度の研究にも取り入れており、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」を意識して行っています。例えば、「主体的な学び」として、学ぶことに関心を持たせ、見通しをもって学習に取り組ませたり、学習を振り返って次につなげたりしています。また、「対話的な学び」として、子ども同士でペアやグループになり協働的に課題解決を行ったり、教職員や地域の方との対話により課題解決の方法を考えたりしています。

11月16日(火)、久賀中学校との交流学習を実施しました。3年生の社会科の授業では、パソコンを用いて、地方自治のしくみについて意見交換するなど、充実した「対話的な学び」が行われました。このように、「主体的・対話的な学びを意図的に仕組み、今までの学習で身に付けた知識・技能を活用することで、学びを深めることが期待できます。

家庭でも取り組める「対話的な学び」としてお薦めなのが、家庭で家族と一緒に新聞を読み合うことです。「ファミリーフォーカス」といい、社会問題やスポーツ、自然、観光、故郷などについて親子で話す機会にもなります。ネットニュースでも構いません。実際、韓国や欧米では習慣化されている家庭が多いそうです。関心のあることについて話し合う。これが「主体的・対話的で深い学び」の基本です。



<久賀中との交流学習の様子>

桜の樹を植樹しました!

11月23日(火)、箕岳園地に桜の樹を4本植樹しました。これは、昨年度の台風で箕岳園地の桜樹が倒木したため、崎山地区公民館の橋本館長から苗木を手配していただき植樹することになりました。



当日は、1・2年生14名で植樹しました。橋本館長から、箕岳園地ができた経緯や箕岳を発着点とする中学生のマラソン大会が行われていたことなどの話を聞くなど、有意義な活動となりました。

「会長賞」受賞 税の作文

11月24日(水)、税の作文の伝達表彰が校長室で行われました。3年生の藤尾依千乃さんが「五島法人会会長賞」を受賞し、野口会長様より表彰していただきました。



安全な登下校を!

最近、急激に日の入りが早くなり子どもたちの下校時刻には薄暗い状況です。安全面から蛍光たすきの装着を指導しています。また、やむを得ず車による送迎をする場合には、学校前の横断歩道付近での乗降は御遠慮ください。御協力をお願いします。

おしらせ

- 12月2日(木) 人権集会
- 12月5日(日) 農地保全活動
- 12月8日(水) 全校・学年PTA

部分月食から

11月19日金曜日の夕方、部分月食が見られた。今回の月食は、満月の97.8%が地球の影に入るといっほ皆既月食に近いものであった。この日は快晴。絶好の天気で、理科の馬場先生が朝から天体望遠鏡を準備し、残っていた職員で部分月食観察を行った。

生徒が下校した6時頃から東の空に現れ、早速天体望遠鏡で観察。今回の月食は、影の中に入った月が赤銅色に見えるという現象が観察できた。これは、部分月食ではありながらもほほ皆既月食に近いためだという。左の写真は実際に撮影した写真である。実に神秘的だ。私もその一人だが、改めて月食の仕組みを調べた生徒もいたのではないかな。不思議な現象に興味・関心を持ち、自分で調べたり観察したりする。理科の醍醐味である。

